

攝津製油が第38回日本食品微生物学会学術総会で 功労賞と優秀発表賞を受賞しました

去る10月5日・6日の両日、徳島県郷土文化会館（徳島県徳島市）にて開催された第38回日本食品微生物学会学術総会にて、攝津製油株式会社が2つの賞を受賞しました。

1つ目が日本食品微生物学会功労賞で、攝津製油株式会社が団体で受賞しました。この賞は、長年の継続した学会発表、論文投稿、監事・評議員・学術総会実行委員など学会運営への参加、賛助会員での学会への寄与が評価されたものです。



表彰を受ける大前社長

2つ目が優秀発表賞で、当社の商品開発研究室 衛生管理技術開発チーム 西谷室員が「ノロウイルス様中空粒子と組織血液型抗原の結合に及ぼす抗ノロウイルス成分の影響」の演題で受賞しました。口頭発表62題ある中から見事、受賞した3題に選ばれました。



優秀発表賞を受賞した西谷室員

ノロウイルスは通常体外で増殖させることができず抗ウイルス剤の評価が困難でしたが、本発表ではノロウイルス様中空粒子を作成することにより、評価ができる可能性を示したことが認められました。また、評価しているブドウ種子抽出物は自社製品「ユービコールノロV」の配合成分です。

攝津製油は今後とも洗浄剤・除菌剤を通して、食品衛生に貢献してまいります。

以上

リリースに関するお問合せ先 攝津製油株式会社 化成品営業企画部
TEL: 072-280-0902 大阪府堺市西区築港新町1丁5番地10